

マキノ病院ニュース

第136号

— 令和7年4月1日発行 —

へき地医療拠点病院の指定を受けました

院長 西村 彰一

この度、マキノ病院は「へき地医療拠点病院」の指定をいただき、こととなりました。へき地医療拠点病院とは、医療資源が限られた過疎地域や山間部、離島などのへき地において、地域住民に安定した医療を提供するために指定される病院です。滋賀県においては滋賀県保健医療計画に基づき、県知事が指定します。これまで滋賀県内では長浜市立湖北病院と高島市民病院が指定を受けており、県下では三番目の認定となります。

高島北部は無医地区・準無医地区に指定はされていないものの、医療機関へのアクセスが困難な地域が点在しています。在原地域への巡回診療で得られたノウハウを活かし、これらの地域にも対応していく必要があると考えております。ただ、医療を提供する側の資源も限られており、今後は遠隔診療なども取り入れ対応する必要があると考えており、準備にももう少し時間を頂きたいと思っております。今後も地域医療の推進に力を入れていく所存ですが、そのためには医療従事者の確保が重要となります。特に滋賀県内の多くの病院で看護師不足が問題となっており、人材の確保に

苦勞しています。当院も例外ではなく、不足した人材は派遣業者を通して確保を行っておりますが、期間を限定しての派遣となっており、安定的なものではありません。病院運営の安定化を図り、地域医療を推進していく上においてはマキノ病院への就職を希望される方を開拓する必要があります。紙面を借りてのお願いとなりますが、親戚、知人などの看護師の方で当院への就職を少しでも考えていただける方がいるようでしたら、当院の事務部に総務課へ連絡を頂ければと存じます。また、当院は以前より将来看護師を希望される方にも奨学金の支給を行い、就学のサポートを行ってきました。高校生だけではなく、看護師を目指す社会人の就学支援も行ってまいります。尚、滋賀県私立病院協会が運営する堅田看護専門学校への入学において

は、看護師になる情熱を持っていただける方であれば責任をもち入学へのサポートをさせていただきますので、事務部総務課に連絡いただければ詳細を説明いたします。

新年度となり新入職員を迎える季節となりました。この4月より小林玄樹医師が常勤医師として就職されます。これまで非常勤として月曜日に勤務していたのですが、専門の糖尿病・内分泌代謝疾患のみならず、地域医療への熱い情熱をもっておられ、幅広い疾患に対応していただけると思っております。更に看護師、リハビリ、事務部にも新入職員を迎えます。新たな力を得て、これからの住民の皆様にご満足していただける病院づくりを目指して、職員一同努力してまいります。

ドクターコーナー



この度4月1日付けをもちまして、マキノ病院に常勤として着任いたしました。紙面をお借りして簡単に自己紹介をさせていただきます。生まれは京都の京北というところで、平成29年に京都府立医科大学を卒業しました。その後は京都市立病院で初期研修を行い、母校

着任のご挨拶

糖尿病の発症予測と身体指標に関して

内科 小林 玄樹

の糖尿病内分泌代謝内科に入局、京都市。現在高齢化の進行や医療従事者都山城総合医療センターで後期研修の偏在などが地域医療で問題となっており、令和3年より京都府立医科大学に入学、令和7年3月に高島市も令和2年時点で卒業しました。令和4年より馬場先導の卒業生として月曜日の非常勤でマキノ病院に勤務させていただいておりますが、患者様の

と推定され、糖尿病に関連する医療費が年々増加し続けています。肥満は2型糖尿病発症の主なりリスクです。現在の評価のため様々な指標が使用されており、BMIと腹囲は日本の健康診断でも測定項目となっております。BMIは世界的にも最も普及している指標で、身長と体重から計算されます。腹囲は内臓脂肪の蓄積を簡便に評価できます。内臓脂肪の増加はインスリンの効きを悪くするなど、皮下脂肪よりも2型糖尿病においてより重要な役割を果たすと考えられています。

標がないかを15万人の健診データを元に検討しました。結果は男性では腹囲身長比（腹囲（cm）÷身長（cm））が、女性では腹囲身長比と腹囲調整BMI（腹囲（cm）×BMI）がより優れた指標であり、男性で腹囲身長比0.497、女性では腹囲調整BMI 18.6と腹囲身長比0.51が発症リスクを考えると、1つの目安になる事が分かりました。BMIや腹囲だけでなく、腹囲身長比などにも注目し、2型糖尿病発症予防に繋がっていたらと思います。



内科常勤医師 小林 玄樹

この度4月1日付けをもちまして、マキノ病院に常勤として着任いたしました。紙面をお借りして簡単に自己紹介をさせていただきます。生まれは京都の京北というところで、平成29年に京都府立医科大学を卒業しました。その後は京都市立病院で初期研修を行い、母校

り、この度ご縁があり常勤として勤務できることを大変うれしく思います。専門は糖尿病や甲状腺等の内分泌疾患ですが、以前より地域医療に関わりたいと思っており一般内科疾患を幅広く診療したいと考えております。

に適切な医療を提供できるように頑張りたいと思っておりますので、どうぞよろしく願います。さて糖尿病に関して、大学院時代に論文報告したことを紹介したいと思います。現在全世界で5億3700万人が糖尿病と診断されている